

日本水泳・水中運動学会発表の報告

日時：平成 25 年 11 月 2 日 3 日

学会名：日本水泳・水中運動学会

場所：早稲田大学所沢キャンパス

題目：飛込競技における入水姿勢

- 後方回転種目の回転数による違い -

要約：入水時の関節角度を解析したところ、体幹と股関節に増加傾向がみられました。そのため、回転数の増加という種目の難易度が、入水時の腰痛発生につながるということが示唆されたというものです。

感想：今回の学会発表を通して、研究方法や治療方法など新たな知識を吸収することができました。今後もこのような活動を継続し、治療技術の向上に努めていきたいと思えます。

※ 内容は論文として水泳・水中運動科学に掲載予定



理学療法士 谷口